



2022年1月28日

各 位

会 社 名 株式会社ハイパー
代表者名 取締役社長 望 月 真貴子
(コード番号：3054 東証第一部)
問合せ先 取 締 役 江 守 裕 樹
(TEL 03-6855-8180)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年7月30日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2021年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	21,000	150	140	130	13円25銭
今回修正予想(B)	20,600	78	65	32	3円47銭
増減額(B-A)	△400	△72	△75	△98	—
増減率(%)	△1.9	△48.0	△53.6	△75.4	—
ご参考：前期実績 (2020年12月期)	21,351	330	331	222	25円03銭

(2) 修正の理由

今期の当社グループの状況につきましては、アスクルエージェント事業や子会社の業績は概ね順調に推移いたしました。アスクルエージェント事業においては、新型コロナウイルス禍における在宅勤務の増加により、オフィス関連商材の減少があったものの、マスクや消毒液をはじめとする衛生用品および生活用品の売上が増加いたしました。

一方で、主力のITサービス事業においては半導体不足の影響から主力商品であるパソコン本体の供給不足が想定を上回り、長期間に及んでいることから売上が大きく減少いたしました。

そのため、新規顧客の開拓と、セキュリティ及びDX関連需要の取り込みを主軸とした施策に注力し、売上の確保に努めてまいりました。

その結果、セキュリティ関連製品、クラウドサービス、タブレット端末を活用したソリューション、設置・保守サービス等の分野において大幅な売上拡大となったものの、パソコン本体の売上減少分を補うには至りませんでした。

また、経費については、今後の持続的かつ安定的な成長並びに戦略的投資の視点から、今後需要の拡大が見込まれるネットワークインフラ、セキュリティ、DX分野のエンジニアを中心とした人員の増強・育成、デジタル化や自動化などに関連したシステムへの投資を継続してまいりました。

その結果、ITサービス事業におけるパソコン本体の売上減少による大幅な利益減と計画通り経費を執行したことにより、利益におきましては当初予想を大きく下回る見通しです。

以上の理由により、業績予想数値を上記のとおり修正いたします。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. その他

配当予想について

当期の配当金につきましては、現時点で当初予想からの変更はございません。
今後の動向を見定め、変更が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上